



令和5年9月22日
四国運輸局

四国運輸局管区内の交通事業者の令和2年度以降の輸送実績等について

- 各モードとも回復傾向にあるものの、引き続き厳しい状況に置かれているモードもある。

この度、四国運輸局では、令和2年度以降令和5年8月までの輸送人員及び輸送収入（感染症拡大前比）の推移を取りまとめました。

感染症拡大の影響を受け、鉄道・バス・タクシー・旅客船の各モードの輸送人員及び輸送収入については、令和2年4～5月を底として大幅に減少し、以降は感染症の拡大状況に合わせて回復と減少を繰り返してきました。

令和4年1月以降、各モードの輸送人員及び輸送収入は減少傾向に転じていましたところ、まん延防止等重点措置が明けた令和4年3月以降上昇傾向となっていますが、依然として厳しい状況に置かれているモードもあります。

【添付資料】

- ・四国運輸局管区内の交通事業者の輸送人員及び輸送収入等の推移について（感染症拡大前比）

※各数値はあくまで現時点での数値であり、今後修正される可能性があります。

連絡先

四国運輸局 交通政策部 交通企画課
木村、山下
TEL : 087-802-6725

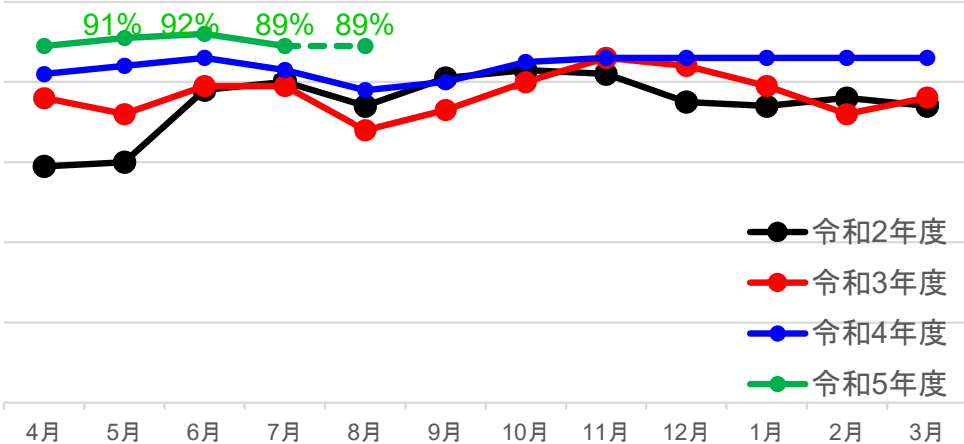
地域鉄道・JR四国の輸送人員・輸送収入の推移



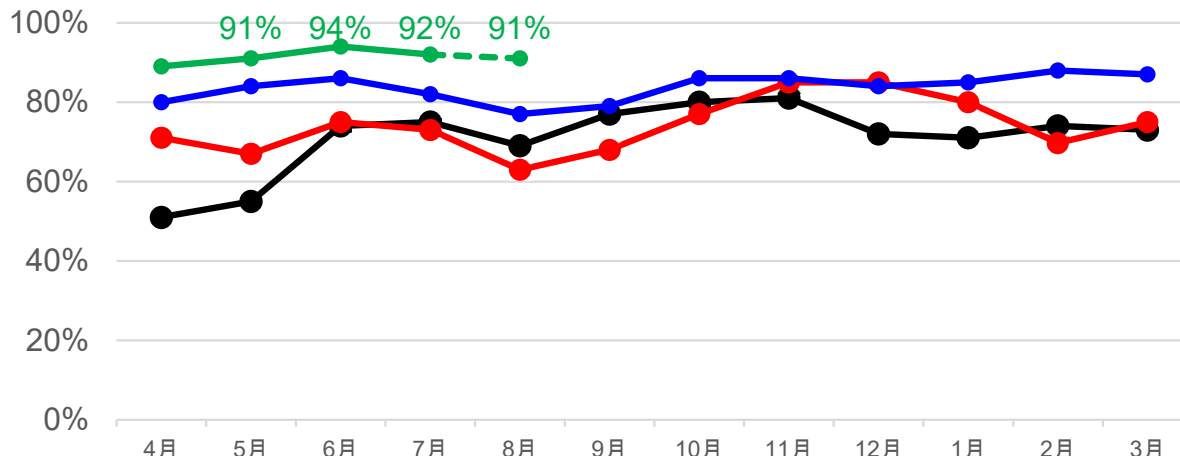
- ◆ 地域鉄道の輸送人員は5～9割台で推移。輸送収入は5～9割台で推移（感染症拡大前比）。
- ◆ JR四国の輸送人員は5～8割台、輸送収入は2～9割台で推移（感染症拡大前比）。

地域鉄道

輸送人員



輸送収入

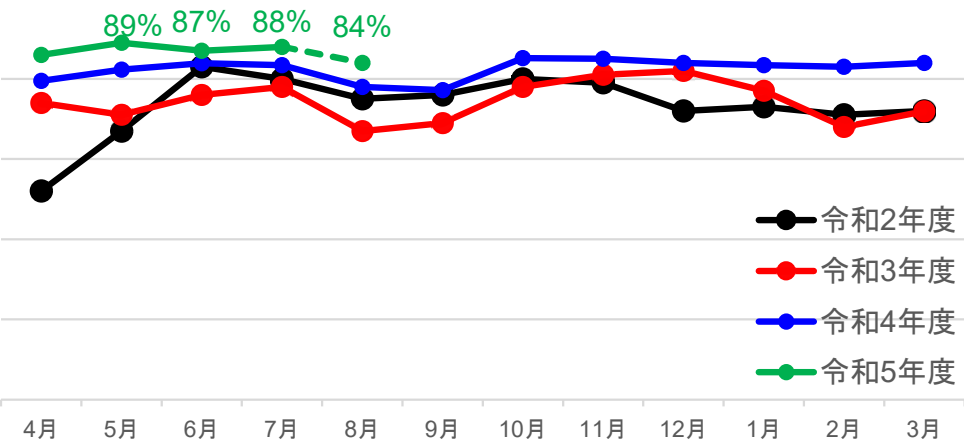


※四国管内の鉄軌道事業者（5社）からの報告値（最新月は速報値）を基に四国運輸局が作成。

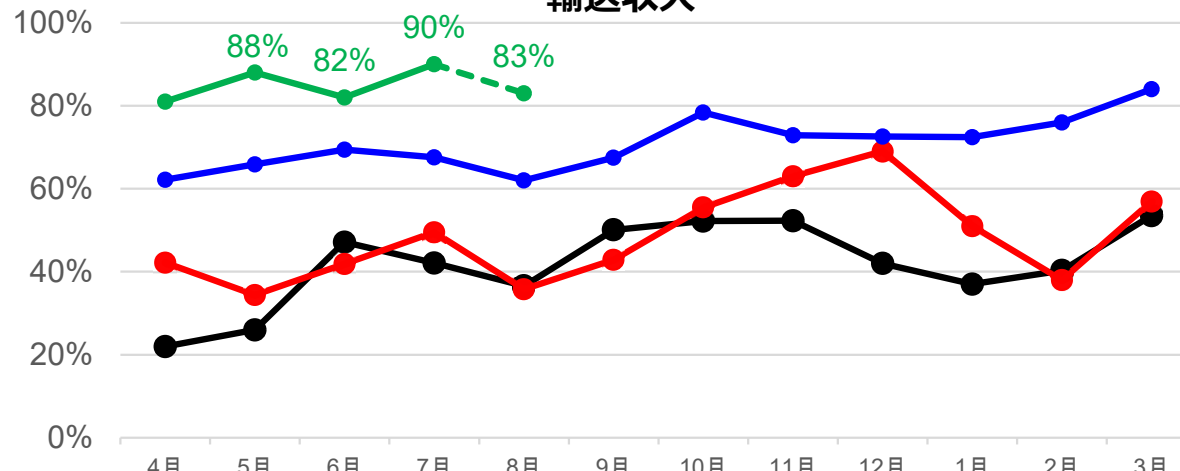
いずれも各社実績合計値を平成29年～令和元年の同月の平均値と比較した割合。

J R 四国

輸送人員



輸送収入

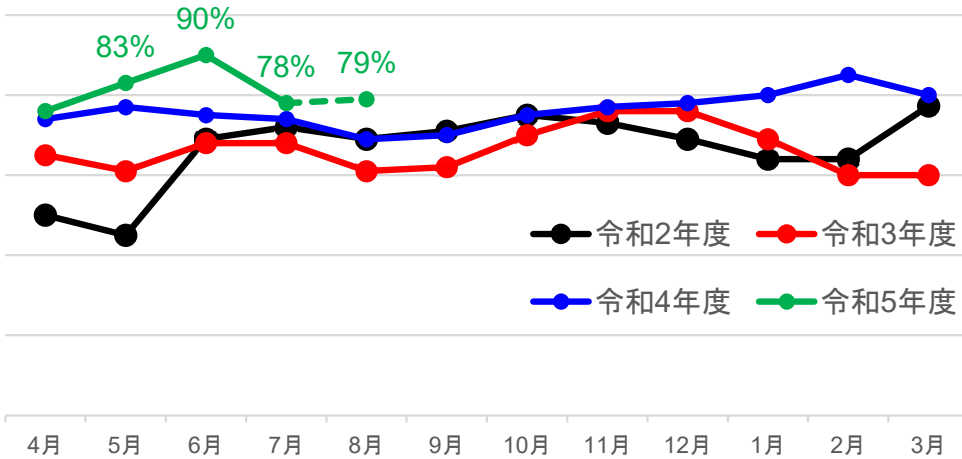


※輸送人員は「四国における運輸の動き」、輸送収入はJR四国公表の「鉄道営業概況」を基に四国運輸局が作成。いずれも平成29年～令和元年の同月の平均値と比較した割合。最新月は速報値（輸送人員は主要線区でR元年比）。

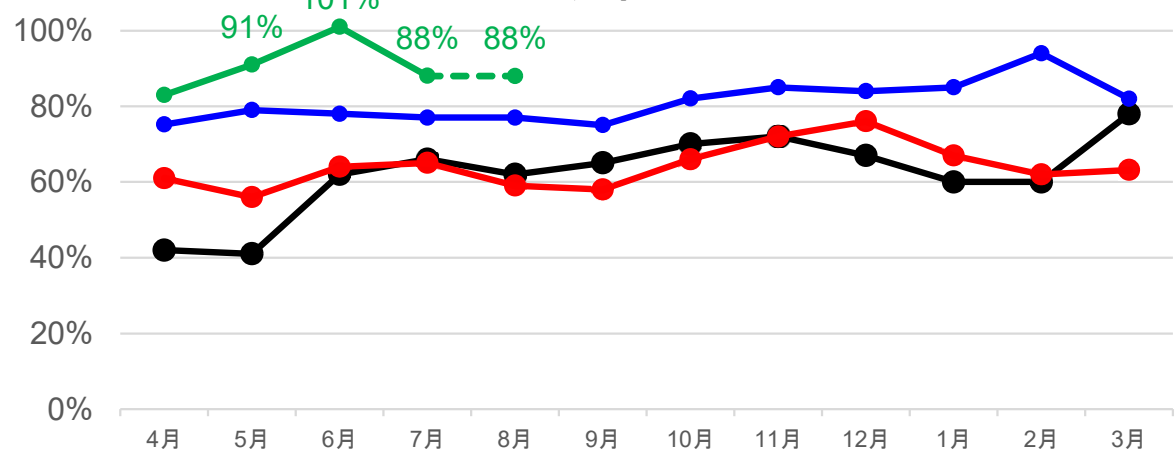
- ◆ 乗合バスの輸送人員は4～9割台、輸送収入は4～10割台で推移（感染症拡大前比）。
- ◆ 高速バスの輸送人員及び輸送収入は0～7割台で推移（感染症拡大前比）。

乗合バス

輸送人員



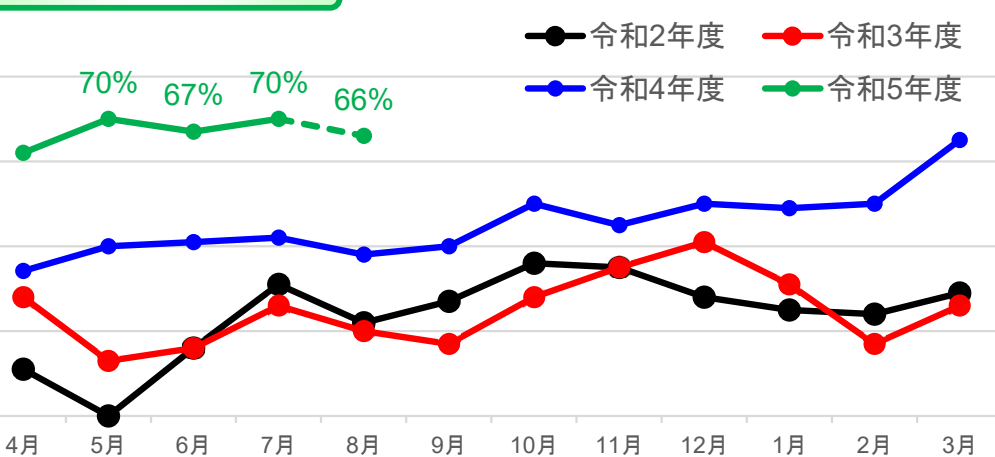
輸送収入



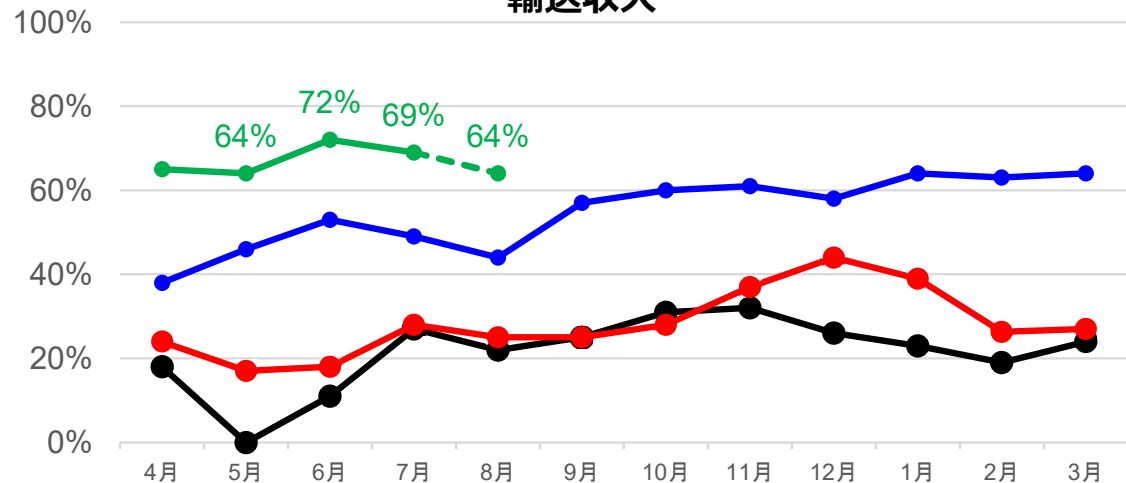
※四国管内の乗合バス事業者（7社。うち1社は令和3年10月まで）からの報告値（最新月は速報値）を基に四国運輸局が作成。月により集計できていない事業者も存在する。いずれも各社実績合計値を平成29年～令和元年（一部令和元年）の同月の平均値と比較した割合。

高速バス

輸送人員



輸送収入

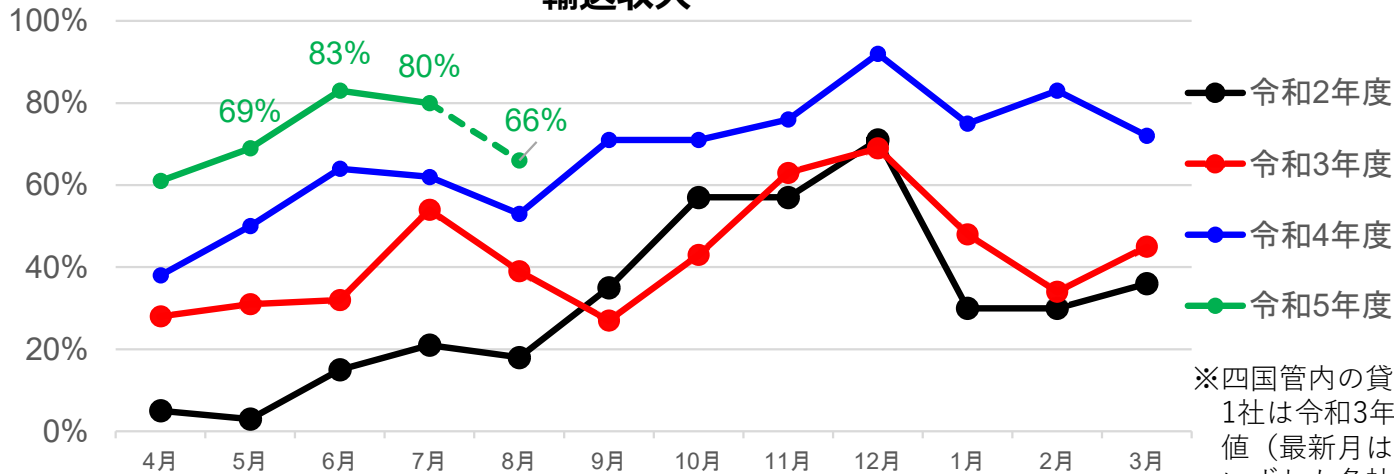


※四国管内の高速バス事業者（5社。うち1社は令和3年10月まで）からの報告値（最新月は速報値）を基に四国運輸局が作成。月により集計できていない事業者も存在する。いずれも各社実績合計値を平成29年～令和元年の同月の平均値と比較した割合。

- ◆貸切バスの輸送収入は1～9割台で推移（感染症拡大前比）。
- ◆タクシーの輸送人員は3～7割台、輸送収入は3～8割台で推移（感染症拡大前比）。

貸切バス

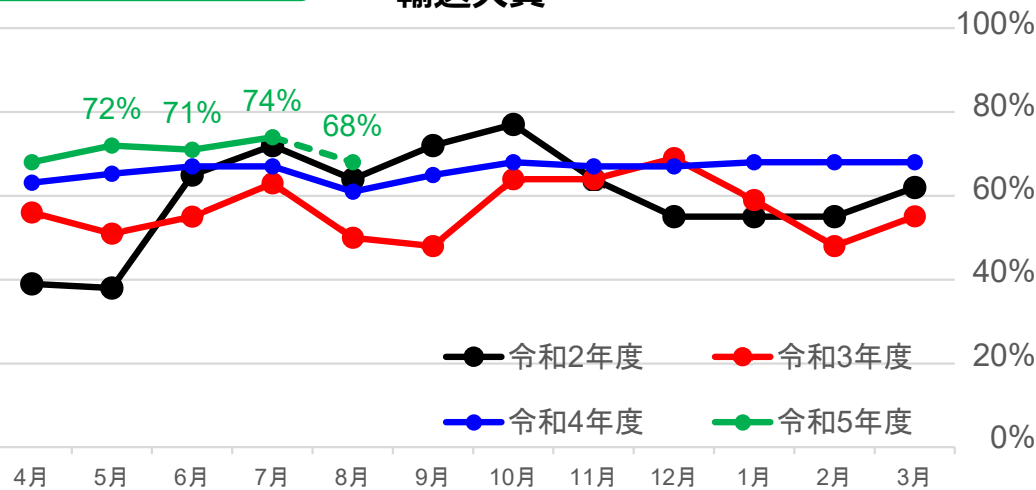
輸送収入



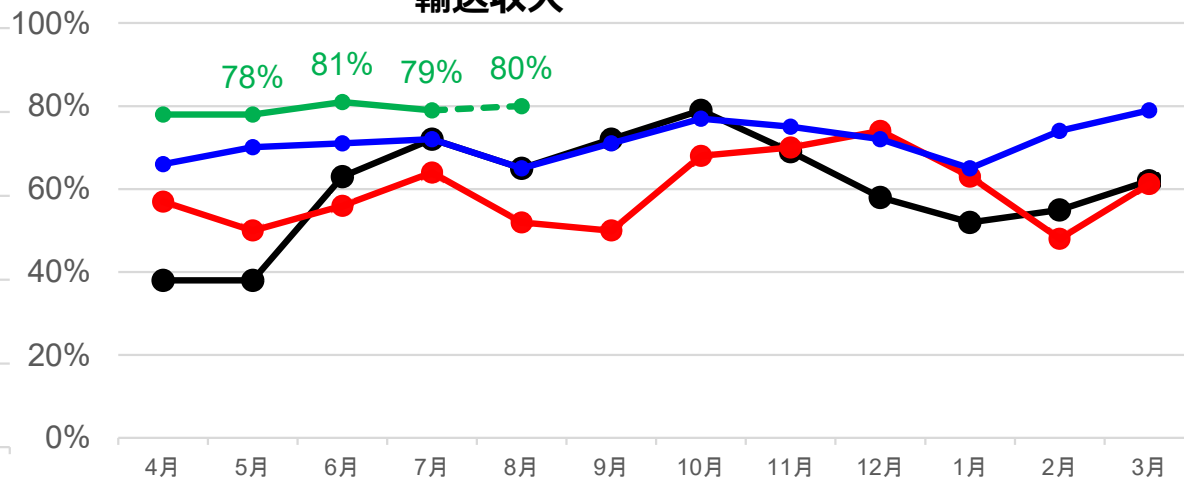
※四国管内の貸切バス事業者（6社。うち、1社は令和3年1月から、1社は令和3年10月まで、うち1者は令和4年2月まで）からの報告値（最新月は速報値）を基に四国運輸局が作成。いずれも各社実績合計値を平成29年～令和元年の同月の平均値と比較した割合。

タクシー

輸送人員



輸送収入

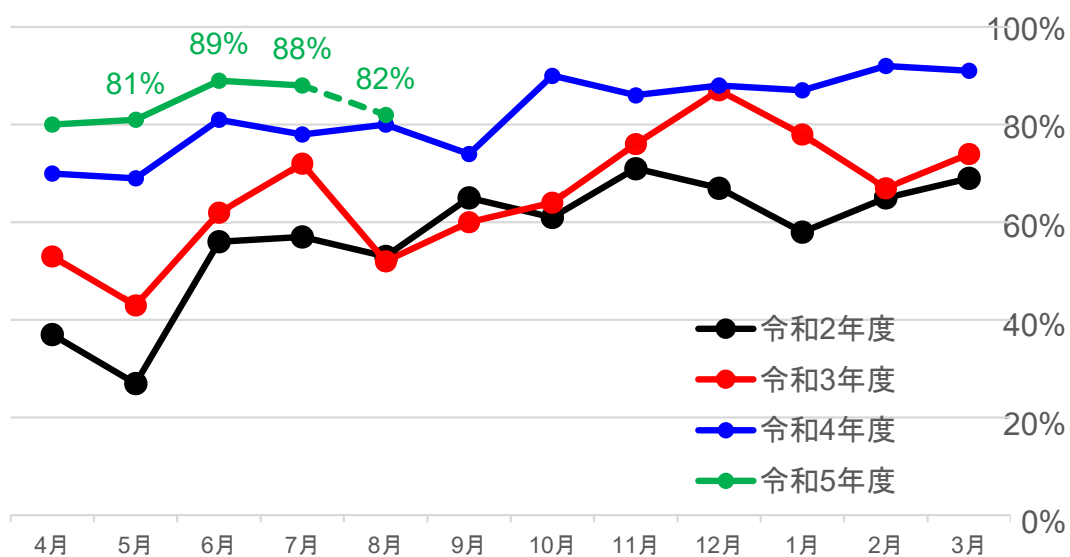


※四国管内のタクシー事業者（21社）からの報告値（最新月は速報値）を基に四国運輸局が作成。いずれも各社実績合計値を令和元年の同月値と比較した割合。

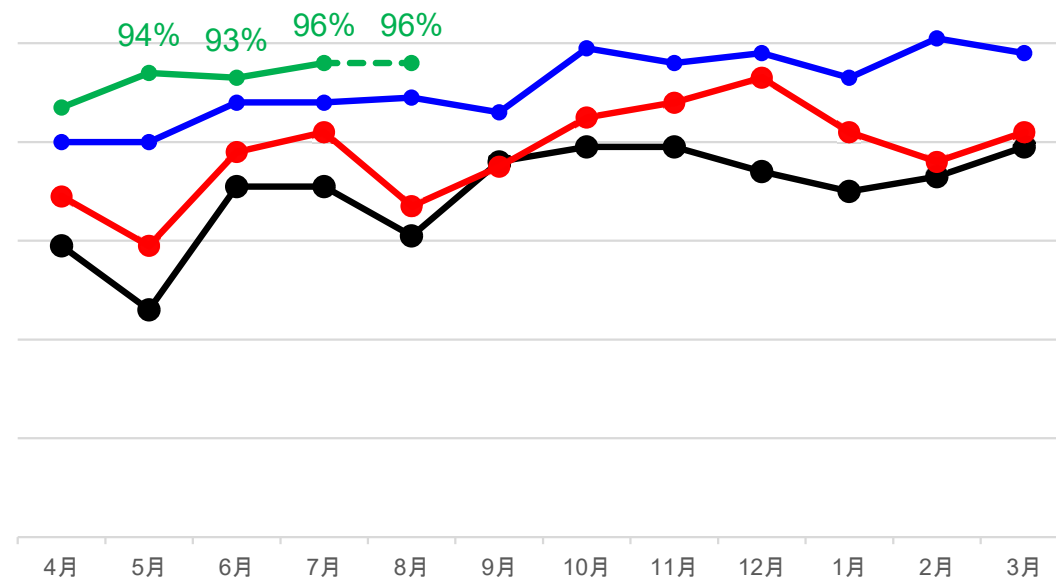
◆ 旅客船（フェリー、高速船、離島航路）の輸送人員は2～9割台、輸送収入は4～10割台で推移（感染症拡大前比）。

旅客船

輸送人員



輸送収入



※四国発着の旅客船事業者（41社45航路、令和3年4月から輸送人員は40社44航路、輸送収入は38者42航路*うち1者は7月、8月のみの季節運航）からの報告値（最新月は速報値）を基に四国運輸局が作成。月により集計できていない事業者も存在する。いずれも各社実績合計値を令和元年の同月値と比較した割合。